

エクスプローラー

(Pick -3561)

ケンタッキーブルーグラスの特徴

“ エクスプローラー ” ケンタッキーブルーグラスの育種の最終目的は、初期の品種のものよりより強力で、しかも何かが違うものを作ることでした。しかも、優れた芝としての特徴に加えて、種子の生産能力も非常に高いことを強調することができます-----この目標は長い間、ケンタッキーブルーグラスの育種者が避けていた目標でもあります。この目標を達成するために必要なことは1000種類のブルーグラスの中から10の子孫を選別することと、ハイブリッド化であり、一つのものの中にそれらの二つの特徴を併せ持った単一の独立した植物を見つけることであります。エクスプローラーはそのような芝質としてトップの品質を保持しながら非常に優れた種子生産性を併せ持った種類として初めての品種と言えます。

育種

エクスプローラーの育種は、掛け合わせ番号 89-1033 というハイブリッドの子孫の一つから始められました。二つの、優れた芝生としての特徴を持つ、すでに販売されているブルーグラス（植物特許申請が終わるまでこの品種の名前は公開できません。）が1989年の冬に、ジャクリン温室試験所で交配させられました。その掛け合わせから取れたそれぞれの種子を温室のパレットに蒔き、その後1990年5月に33,000株を試験圃場に植えました。1990年と1991年の間、試験圃場にて植物として、或いは穂の付け方が親株と似ているかどうか選別確認されました。そして親株と違う性格を持った株から、1991年7月に種子を収穫し、アイダホでその年の秋に芝の試験圃場に定植しました。そしてその試験圃場のそれぞれの試験区にそれぞれの固体を区分けするためと、掛け合わせの系譜を区別するための、固有の番号を割り当てました。このエクスプローラーの試験番号は91-3561でした。

芝質の検討

初期の芝質は、リールモアーを使用して、30 mm の刈り高で週に2回刈り込みました。2回目の成長期に例外的な芝質のプロットが追加のテストプロットとして追加されました。1993年9月、エクスプローラーを含むターフトライアル試験はニュージャージー州、アデルフィアファームと同州、ラトガース大

学に植え付けられました。1994 年、エクスプローラーは東京とワシントン D C でターフトライアルのために定植されました。1995 年 8 月、エクスプローラーは米国ケンタッキーブルーグラステストにエントリーする品種として、このターフトライアルの中の 4 5 種類の最終選考品種から選ばれました。このテストの最初の結果が、1997 年 5 月に発表されました。

エクスプローラーの全体の芝質は、9 を理想的な芝質とする 1 から 9 の点数で秋の後の 5 成長期の中で 8 . 5 点と言う得点でした。5 年間の平均が最高の品種は 8 . 5 でエクスプローラーとは統計学的にも差異はありません。他のものと比較しますと、

エクスプローラー	8 . 5
ミッドナイト	7 . 8
エイブル	6 . 7
エクリプス	6 . 6
P - 1 0 4	6 . 5
ブラックスブルグ	6 . 5
アペックス	6 . 2
リムジン	5 . 8
グレード	5 . 7
ハンツビル	4 . 7

試験開始後の 4 成長期の後、刈り高を 1 3 mm に下げました。ほとんどのトッブランク品種はこの刈り高ではひどくターフが薄くなりました。しかしながらエクスプローラーはそうではありませんでした。その時でも 8 . 0 という強力な芝質を維持しており、それに対して最も良いターフの品種が 8 . 7 でした(これは統計学的に差はありません。)。他のものと比較しますと、

エクスプローラー	8 . 0
ミッドナイト	7 . 5
エイブル	6 . 6
エクリプス	5 . 1
P - 1 0 4	6 . 9
ブラックスブルク	4 . 5
アペックス	5 . 3
リムジン	2 . 2
グレード	4 . 4
ハンツビル	4 . 2

エクスプローラーは冬の色の得点が5.0で、春のグリーンアップの得点が7.0で、5月上旬の得点は満点の9.0でした。他と比較しますと、

	冬の色	春のグリーンアップ	5月の芝質
エクスプローラー	5.0	7.0	9.0
ミッドナイト	5.3	5.3	8.7
ブラックスブルグ	4.0	5.3	8.0

エクスプローラーはいくつかの芝の重要病害に対して抵抗性を持っています。リーフスポットに対する抵抗性では8.0、さび病は8.0、雪腐れには、3.0。他との比較では

	リーフスポット	さび病	雪腐れ
ミッドナイト	8.0	6.3	4.0
ブラックスブルグ	7.3	6.7	3.3

ラトガー大学の1993年アデルフィアトライアルでは、エクスプローラーは第7位の品種として芝質5.6の得点を取っております。他の品種は、

エクリプス	6.5
グレード	6.8
ニュースター	6.0
ジュリア	5.5
ハンツビル	3.4

我々のワシントンDCでの試験の乾燥と病害の厳しい生育条件下でも、やはりエクスプローラーは十分特筆すべき結果を出しております。エクスプローラーは200の実験的調査の品種試験のうちの第22位の品種として6.0の得点を取っております。他の品種は、

ミッドナイト	5.7
ユニーク	4.7
アスペン	3.6

ブラウンパッチとリーフスポットはこの試験地は多発しておりました。エクスプローラーは、リーフスポットに対して、9.0を取りました。他の品種は

ミッドナイト	7.7
ユニーク	4.7
アスペン	3.0

ブラウンパッチに対してエクスプローラーは、8.0点の結果となり、他の品種は、

ミッドナイト	3.0
ユニーク	2.7
アスペン	3.0

使用方法と適応環境

エクスプローラーは究極の多目的に使用できる品種です。なぜなら、高温、乾燥、病害に対して優れた抵抗性を持ち、エクスプローラーは温暖な気象の地域での適応に優れ、他の現在のケンタッキーブルーグラスよりも南の地域で使うことができます。また深く、美しい緑色は大変魅力的で、肥料の使用量を下げても濃い緑色を維持することができます。ですからエクスプローラーは、他の品種に比べ少ない肥料で同じような濃い緑色を維持することができます。

エクスプローラーは過去のブルーグラスに比べて低刈りに対する抵抗性はまったく異質のものです。エクスプローラーは、ゴルフ場のフェアウェーの古いブルーグラスの芝を新しく変えたいと言う目的にうってつけです。過去の古いブルーグラスは13 mmで刈ることにより、弱るか、枯れてしまいますがエクスプローラーは、その刈り高でも優れたターフクオリティを維持することができます。エクスプローラーは真にフェアウェー用のブルーグラスとしての条件を兼ね備えた、初めての品種の一つであることを確信しております。

エクスプローラーはやや攻撃的ですが、しかしながら初期の攻撃的な品種と違って、サッチを形成しやすいものではありません。過度の肥料の散布はもちろんだの品種にもいえますが、サッチが増えますので避けてください。

エクスプローラーは2から4種類の他のブルーグラスの混合が良いです。ライグラスとの混合もできますが、ライグラスの比率を重量比で20%以上にしてください。トールフェスクとの混合では、エクスプローラーを重量比で10から50%にしてください。